

新単元構想表

(ver.3.2)



2024/3/15 11:03

(第2学年) 単元名：「君は「最後の晩餐」を知っているか」

指導者：岐阜市立岐阜中央中学校 教諭 北原 章大

All Clear

言語活動例		学年	領域	記号	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動。			
指導事項		2年	C領域	ア				
学年	領域	記号	言語活動	重点化	学習活動	評価規準	留意点 他	時
2年	C領域	ア	導入（学習への見通し）	自分 ア ナ ラ イ ズ 「 か っ こ い い 」 を 解 き 明 か す	【導入】：単元の計画をつくる。 自分にとっての「かっこいい」を考え、仲間と比較する。また、筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい」と評したことから、見方、考え方は人によって様々異なることに気付く。そこから言語活動と単元目標を知り、個人目標を設定する。		・予め「かっこいい」と感じるもの(人、事象、作品)について考えさせ、準備させておく。 ・自分と仲間の考えとともに筆者の考えも比較し、それについてどう思うかを記述させておく。	①
			構造と内容の把握		【内容理解①】：文章の内容を理解する。 重要語句である「解剖学」「遠近法」「明暗法」といった「絵画の科学」についてまとめる。また、筆者が「かっこいい」を説明していく論の展開についてつかむ。	・重要語句の説明について本文から適切に抜き出し、簡潔にまとめている。 ・重要語句を基にして、論の展開について簡潔にまとめている。	・まとめることができない生徒には、文章のどこにどの語句があり、それについての説明がどこからどこまで行われているか、どんな順番で説明がされているか、主張点はどこについて支援する。	②③
			精査・解釈		【内容理解②】：レオナルド・ダ・ヴィンチの絵画について知る。 美術の教員を特別講師として招き、ダ・ヴィンチの絵画にはどのような作品があるのかを紹介してもらおう。教科書にある「春」「ラ・ブリマヴェーラ」「最後の審判」「モナリザ」について、それぞれの特徴を紹介してもらおうと共に、筆者の説明している「絵画の科学」がどのように使われているのかを理解する。			
			精査・解釈		【精査解釈①】：筆者の論理の展開の工夫をつかむ。 筆者が「最後の晩餐」を解説していく際、「解剖学」「遠近法」「明暗法」といった絵画の科学に着目していることに気付く。また、その順番に着目することで、筆者が意図的に読者の視点と思考を誘導していることに気付く。筆者が非常に分析的な見方、考え方をもっていることに気付く。	・「解剖学」「遠近法」「明暗法」といった「絵画の科学」についての説明を適切に理解している。 ・説明の順番(展開の工夫)について考え、自分なりに説明している。	・「解剖学」「遠近法」「明暗法」という「絵画の科学」を説明させるのではなく、それを筆者がどのように捉えているかについて考えさせる。 ・3つの要素をこの順番で並べたことの意味について、教科書の挿絵なども参考にして考えさせる。	④⑤
			精査・解釈		【精査解釈②】：筆者のものの見方、考え方をつかむ。 筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい」と評した理由を考えることで、筆者が分析的なものの見方、考え方をもっていることを理解する。「絵画の科学」への着目やレオナルド・ダ・ヴィンチへの造詣の深さ、説明の仕方などから、筆者の見方、考え方を解き明かす。	・精査解釈した内容を関連させて、筆者が「かっこいい」と評した理由について考えている。	・「絵画の科学を使っているから」という説明で止まっている生徒には、「なぜ絵画の科学を使うのかかっこいいのか」と問いつけることで、筆者のものの見方、考え方に迫れるようにする。	
			考えの形成		【考えの形成】筆者のものの見方、考え方を根拠とし、自分の考えを形成する。 筆者のものの見方、考え方を参考にし、自分にとっての「かっこいい」を定義づける。自分が「かっこいい」と思うものの共通点やその理由について考えることで、自分がどのようなものの見方、考え方をもっているかを解き明かす。	・精査解釈で明らかにした筆者のものの見方、考え方をもとにして、自分の考えを形成し、説明している。	・「人」「もの」「作品」など、いくつかのカテゴリを設定し、それらの中から選択することによって事象を比較・関連しやすくする。仲間の「かっこいい」を聞き、比較すること自分の考えを深めたり広げたりする。	⑥
まとめ（学習の振り返り）				自分が設定した個人目標の達成度から、どのような力を付けたかを自己分析する。		・個人目標の達成度を10段階で自己評価させ、その理由について詳細に述べさせることで、自分の力の高まりや課題に気付かせ、今後の学習の調整に向かえるようにする。		
関連する〔知識及び技能〕		2年	(1)	エ	語彙 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。		・「かっこいい」という語の辞書的な意味や、おそらく万人に共通するであろう定義について考えるようにする。そこから、自分や筆者がもっているものの見方、考え方の固有な部分に着目できるようにする。	
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項								
学びに向かう力、人間性等に関する評価 (主体的に学習に取り組む態度)						・「かっこいい」の意味について考え、それを定義づけるために個人や仲間と対話を繰り返して学習している。	・対話的な学習によって自分の学びがどのように深まったり広がったりしたかを、毎時間の自己評価を蓄積させたり、単元のまとめで振り返らせたりして、実感できるようにする。	

※「留意点 他」の記号…(指)指導に当たっての留意点、(評)評価に対しての留意点、(他)他の学習活動のアイデア、(教)教材・教具の工夫